



栃木県立栃木工業高校3年生
電算機部 副部長
さくた けいじ
作田 敬士 さん

栃木工業高校が独自に企画・設計・商品化した教材用パソコン「SkyBerryJAM（スカイベリージャム）」をご存じでしょうか？ SkyBerryJAM による小中学生向けの出前講座などを行う電算機部の活動を作田さんに伺いました。



栃木工業高校ホームページ

高校生がプログラミング講師

小さい頃からブロック遊びなどが好きで、ものづくりが趣味だという作田さん。工学の道を選んだ理由は「考えていたものが形になるのが面白い」からだそうです。現在は栃木工業高校の電算機部、副部長を務めます。

栃木工業高校は、家庭用テレビやキーボード・電源を接続するだけでなくにプログラミングを始められる、子どもパソコン『SkyBerryJAM』を開発し、プログラミング教育の普及に取り組んでいます。電算機部の主な活動は、この SkyBerryJAM を使い、小中学校での出前講座を行うことで、これまでに60回以上開催してきました。参加した子ども達からは『楽しかった』『もう一度やりたい』と大いに好評を博しています。「講師をすることや準備は大変ですが、自分達が教える行き、役立てる事に、やりがいを感じます。」と作田さんは言います。



「また、より多くの人にプログラミングに親しんでほしい、と作田さんは言います。『身の回りのあらゆるものはプログラムで動いています。大人・子どもに関係なく、仕組みを知っている損はありません。興味を持つ方が増えれば、勉強している私も嬉しいです。』」

あらゆるものにはプログラムが！

今後の電算機部の活動について、目標を聞いてみました。「まずは今行っている講座を、より分かりやすく改良すること。小学生にも理解しやすいよう工夫をしたい。次に、楽しんでもらえる講座のバリエーションを増やしていくことです。」

出前講座では、パソコンの歴史やキーボードの使い方などを教える基礎編から始まり、ゲームを作ったり、ロボットを組み立てて命令を与える等の応用編も行います。しかし、初めてパソコンに触れる子ども達への講義には難しさも。「とにかく分かりやすく伝えることを意識しています。文字だけで表現され、英単語で書かなければいけないプログラミングに、戸惑う子どもも少なくない。でも、やがて集中して真剣に取り組む、その魅力に気づいてももらえることが嬉しい。それに、講座を終えた時、部員みんなで達成感を共有できることも部活動の醍醐味です。」

教える難しさも達成感になる

地域貢献でもある電算機部の活動ですが、作田さんは「一生に一度しかない高校生活で、教える立場になれる経験は貴重です。」と言います。

第11回歌麿まつり

10月15日(土)～10月23日(日)

とちぎ蔵の街大通り および 旧日光例幣使街道周辺にて

秋の恒例、歌麿まつり。期間中には、歌麿道中をはじめとした、歌麿と栃木に関する展示やイベントを行います。詳細は、栃木市ホームページ、歌麿を活かしたまちづくり協議会ホームページ (<https://tochigi-utamaro.com/>)、または公共施設に設置するチラシをご確認ください。

※マスク着用でのご来場にご協力ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、

展示・イベントの変更や中止となる場合があります。

問 歌麿を活かしたまちづくり協議会事務局（蔵の街課内）

☎ (21) 2573



■栃木市人事行政の運営等の状況（概要）

栃木市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、令和3年度の栃木市の人事行政運営等の状況について、次のとおり公表します。詳細については市ホームページに掲載しています。

問 職員課 ☎ (21) 2351

1 職員数に関する状況 部門別職員数の状況と主な増減理由

部 門	区 分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		3年度	4年度		
一般行政	議会	10	10	0	
	総務	271	263	▲8	事務の統廃合
	税務	63	63	0	
	民生	223	224	1	業務増
	衛生	81	82	1	業務増
	労働	1	1	0	
	農林水産	40	37	▲3	事務の統廃合
	商工	37	36	▲1	事務の統廃合
特別行政	土木	107	106	▲1	事務の統廃合
	小計	833	822	▲11	
	教育	157	152	▲5	事務の統廃合
	消防	192	196	4	業務増
普通会計	小計	349	348	▲1	
	合計	1,182	1,170	▲12	
公営企業等	水道	26	26	0	
	下水道	23	22	▲1	事務の統廃合
	その他	63	63	0	
	小計	112	111	▲1	
合計		1,294	1,281	▲13	

2 職員の給与に関する状況

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (R3年度末)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	前年度 人件費率
3年度	人 156,301	千円 72,929,697	千円 3,568,119	千円 11,673,083	% 16.0	% 15.9

※人件費(B)には、職員給料・手当のほか、事業費支弁職員人件費、議員、各種委員、特別職の給与、報酬が含まれています。

(2) 職員給与費の状況（普通会計予算）

区分	職員数 (A)	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
4年度	1,192	千円 4,639,584	千円 1,021,833	千円 1,828,941	千円 7,490,358	千円 6,284

※1. 職員手当には、退職手当を含みません。2. 給与費は、当初予算計上額です。

(3) 職員の平均給料月額及び平均年齢(令和4年4月1日現在)

	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	332,120 円	43.8 歳
技能労務職	285,658 円	55.8 歳

※1. 一般行政職とは、戸籍、年金等の受付や福祉、経理等の業務に従事する事務職員と土木建築等の設計監理業務などに従事する技術職員です。

2. 技能労務職とは、自動車運転手、用務員や道路補修作業員などです。

(4) 職員の初任給の状況(令和4年4月1日現在)

区 分	給料月額
一般行政職	大 学 卒 182,200 円
	高 校 卒 150,600 円
技能労務職	高 校 卒 143,000 円

※一般行政職には行政職給料表が、技能労務職には技能労務職給料表が適用され、異なった給与体系になっています。

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(令和4年4月1日現在)

区 分	経験年数 10 年	経験年数 20 年	経験年数 25 年	経験年数 30 年
一般行政職	大学卒 252,365 円	348,588 円	372,872 円	403,688 円
	高校卒 -	316,250 円	357,200 円	378,418 円

※経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいいます。

(6) 行政職給料表適用職員の級別職員数の状況(令和4年4月1日現在)

区分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	計
標準的な職務内容	主事	主事	主任	係長 主査	副主幹	課長 補佐	課長	部長	
職員数	50	202	153	293	137	85	92	20	1,032
構成比	4.8%	19.6%	14.8%	28.4%	13.3%	8.2%	8.9%	1.9%	100.0%

(7) 職員手当の状況(令和4年4月1日現在)

手当の種類	支給額等
扶養手当	支給対象者 (1) 配偶者 (2) 満 22 歳に達する日以後の最初の3月 31 日 までの間にある子、孫及び弟妹 (3) 満 60 歳以上の父母及び祖父母 (4) 重度心身障がい者 支給額(月額)
	配偶者 6,500 円
	子 1 人につき 10,000 円
	父母等 1 人につき 6,500 円
	満 16 歳の年度初めから 満 22 歳の年度末までの子 1 人につき 5,000 円加算

地域手当 支給対象者 全職員
支給額 (給料月額 + 管理職手当 + 扶養手当) × 支給割合
支給割合は3 %

住居手当	支給対象者 住宅を借り受け、月額 16,000 円を超える家賃を支払っている職員 支給額(月額)
	借 家 28,000 円以内

通勤手当	支給対象者 (1) 交通機関等を利用する職員 (2) 自動車等を使用する職員 支給額(月額)
	交通機関等利用 55,000 円以内 自動車等使用 (通勤距離に応じ) 2,000 円から 31,600 円まで

時間外勤務手当 正規の勤務時間を超えて勤務した職員に支給
・勤務日における時間外勤務 1 時間につき
当該職員の時間単価 × 125 / 100
・週休日における時間外勤務 1 時間につき
当該職員の時間単価 × 135 / 100
・午後 10 時から翌日の午前 5 時までの間である場合は、
その割合に 100 分の 25 を加算した割合

期末手当 勤勉手当		期末手当	勤勉手当	計
	6 月期	1.20 月分	0.95 月分	2.15 月分
	1 2 月期	1.20 月分	0.95 月分	2.15 月分
計		2.40 月分	1.90 月分	4.30 月分

勤勉手当の支給月数(管理監督職を除く)は、成績標準者に係るものです。(職制上の段階、職務の級等による加算措置有)

退職手当	勤続年数	支給率	
		自己都合	応募認定・定年
	勤続 20 年	19.6695 月分	24.586875 月分
	勤続 25 年	28.0395 月分	33.27075 月分
	勤続 35 年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額		47.709 月分	47.709 月分
定年前早期退職特例措置として、2 ～ 45% の加算があります。			

(8) 特別職の報酬等

区分	報酬等月額
市長	1,020,000 円
副市長	840,000 円
教育長	680,000 円
議長	535,000 円
副議長	465,000 円
議員	420,000 円

※市長は平成 30 年 7 月 1 日から報酬等月額の 30% を減額しています。

3 公平委員会の業務の状況

- (1) 勤務条件に関する措置の要求の状況 該当なし
- (2) 不利益処分等に関する不服申し立ての状況 該当なし
- (3) 職員からの苦情の処理の状況

相談事案数	0 件
処理件数	1 件 (2 年度からの継続案件)